

風水害対策

大雨や強風は、わたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

雨の強さと降り方



雨の降り方

雨の状況

地面からの跳ね返りで足元が濡れる。	どしゃ降り、傘をさしていても濡れる。	バケツをひっくり返したように降る。寝ていても雨の音に気付く場合がある。	ゴォーと滝のように降り、低地では、道路冠水などが始まる。	息苦しくなるような圧迫感があり、大規模な災害が発生する可能性がある。
● 雨の音で話し声が良く聞き取れない。 ※長時間続く時は注意が必要。	● ワイパーを速くしても見づらい。 ● 側溝や下水、小さな川があふれる。	● 山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	● マンホールから水が噴出する。 ● 土石流が起こりやすく、多くの災害が発生するおそれがある。	● 雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方

平均風速 10m/s以上15m/s未満	平均風速 15m/s以上20m/s未満	平均風速 20m/s以上25m/s未満	平均風速 25m/s以上
● 風に向かって歩きにくくなる。 ● 傘がさせない。 ● 桶(とい)が揺れ始める。	● 風に向かって歩けない。 ● 転倒する人もいる。 ● 雨戸やシャッターが揺れる。	● しっかりと身体を確保しないと転倒する。 ● 風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	● 立ってられない。 ● 屋外での行動は危険。 ● 樹木が根こそぎ倒れはじめる。

台風

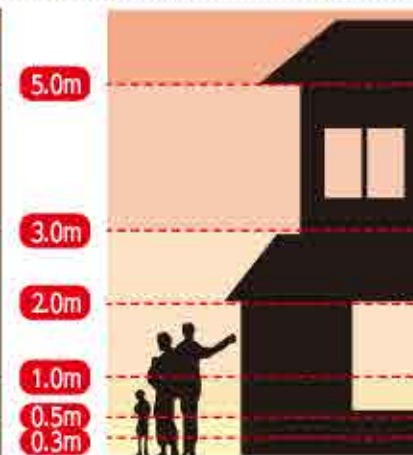
日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/s以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/s以上44m/s未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い 猛烈な	44m/s以上54m/s未満 54m/s以上

洪水に備えて

洪水ハザードマップ浸水深の目安

2階の屋根以上が浸水する程度	5m以上の区域
2階まで浸水する程度	3.0~5.0m未満の区域
1階まで浸水する程度	1.0~3.0m未満の区域
床上浸水	0.5~1.0m未満の区域
床下浸水	0.3~0.5m未満の区域 0.3m未満の区域



- 洪水ハザードマップは「想定最大規模降雨(1000年に1度の大雨)」を想定して作成しています。
- 川がはん濫しない場合でも、低い土地などは床上床下浸水などが起こる場合があります。
- 実際は、想定と異なる浸水深になったり、地図に表示された浸水区域以外にも浸水することがあります。

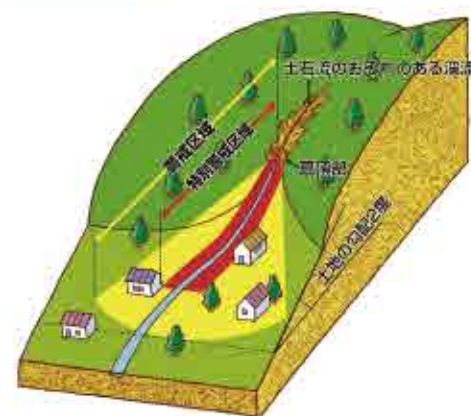
土砂災害について

土砂災害の種類

急傾斜地



土石流



土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域。

- 急傾斜地の崩壊
 - ・傾斜度が30度以上で高さが5m以上の斜面
 - ・斜面の下端から高さの2倍(最大50m)
- 土石流
 - ・土石流の発生するおそれのある渓流において、土石流が堆積する区間で、勾配が2度以上の区域

土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域。

- 国が定めた計算式に基づき、急傾斜地の崩壊に伴う土石等の移動等により建築物に作用する力の大きさが、通常の建築物の耐力を上回る区域